

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (画像・放射線ユニット)
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。		
6	治療、予防 1) 放射線と物質の作用機序, 放射線に用いる単位, 放射線が細胞・組織に及ぼす影響を説明できる。 2) 放射線被曝による身体的障害, 遺伝的障害を説明できる。 3) X線と物質の相互作用を説明できる。	C 基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)
Ⅳ. 診療の実践		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。		
6	検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。 1) 画像診断に用いる各種検査法を説明できる。 2) CTの原理とCT画像の撮影法, 造影CTの利点と副作用を説明できる。 3) MRIの基本的画像と撮像法を説明できる。 4) Interventional Radiology (IVR) についてその原理, 特性, 適応等について説明できる。 5) 核医学検査に用いられる各種放射性同位元素の特徴を説明できる。 6) ポジトロン検査と通常の核医学検査の違いを説明できる。 7) 単純X線写真, CT・MRI, 血管造影の正常解剖を説明できる。 9) 核医学検査の機能診断法の種類と使用薬剤, 検査法を説明できる。	C 基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)
7	治療計画を提案できる。 1) 放射線治療に用いられる放射線の種類と特性, 放射線治療の適応, 他の治療法との違いや併用法を説明できる。	
10	Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。 1) 頭頸部疾患放射線療法法の利点と欠点を説明できる。 2) 胸部・乳性疾患放射線療法法の利点と欠点を説明できる。 3) 腹部・骨盤部疾患放射線療法法の利点と欠点を説明できる。 4) 治療に用いる放射性同位元素の核種と適応を説明できる。 5) 緩和医療としての放射線療法について説明できる。	